

日本生活科・総合的学習教育学会

# 第25回全国大会 宮城大会

平成28年6月11日（土）12日（日）

<大会テーマ>

## 震災体験を乗り越え、次代を切り拓く子ども

～地域の一員として主体的にかかわり共に生きる力を育む生活科・総合的な学習の時間の創造～

千年に一度という巨大地震から5年3か月を経た宮城の地で、第25回全国大会を開きます。2,500名を超える方々が未だ行方不明です。仮設住宅での苦難の生活を強いられた方々、原子力発電所事故のために故郷から離れて不安な日々を過ごす方々も、数十万人に上ります。復興事業の遅れによる人口減少も深刻です。子どもたちの歩む道も険しいものです。

厳しい状況にあっても、被災地の教師たちは、子どもたちに未来を切り拓く力を培うべく、生活科・総合的な学習の創造に努めています。地域の課題をとらえ、しっかりと向き合い、希望を見つけて行動できる子どもたちも育てています。2万人もの尊い命が瞬時に失われた、2011年3月11日の大震災を心に刻み、生きる力を養う教育のあり方をさぐる機会として、多くの会員の参加を期待します。仙台近郊の荒浜、閑上にも足を伸ばし、自然の脅威を実感され、人間の進むべき道について考えていただければと思います。

大会会長 吉村 敏之

主催 日本生活科・総合的学習教育学会

後援 宮城県教育委員会 仙台市教育委員会

協力 仙台市小学校教育研究会生活科・総合的な学習研究部会

協賛 公益財団法人 仙台観光国際協会

# 第25回全国大会 宮城大会のご案内

日本生活科・総合的学習教育学会会長 寺尾 慎一  
 第25回全国大会(宮城大会)会長 吉村 敏之  
 同実行委員長 戸野塚厚子

## 〈大会テーマ〉

### 震災体験を乗り越え、次代を切り拓く子ども

～地域の一員として主体的にかかわり共に生きる力を育む生活科・総合的な学習の時間の創造～

期 日 平成28年6月11日(土) 12日(日)

会 場 〈第1日目6月11日(土)〉

〈第2日目6月12日(日)〉

#### ◇公開授業・授業研究

仙台市立広瀬小学校  
 認定こども園宮城学院女子大学附属幼稚園  
 宮城学院高等学校

#### ◇全体会

(開会行事・シンポジウム・閉会行事)  
 宮城学院女子大学講堂

#### ◇自由研究発表・課題別研究発表・総会

宮城学院女子大学

※懇親会 仙台国際ホテル

#### 参加費

一 般 3,500円(当日受付 4,000円)  
 学 生 2,500円(当日受付 3,000円)  
 懇親会 8,000円  
 事前申込締切 平成28年5月7日(土)

## 日 程

### 〈 第1日目 〉

8:00 8:45 9:50 11:20 12:00 13:30 15:10 15:20 17:00 17:10 17:50 19:00

受付	公開授業	授業研究	移動	理事会 昼食	自由研究 発表	移動	課題別 研究発表	移動	総会	移動	懇親会
〈会場〉 各園・小・高	シャトル バス 事前申込 者のみ			〈会場〉 宮城学院女子大学					仙台駅行 バス増発		〈会場〉 仙台国際ホテル

※公開授業 広瀬小：8:45～9:30 幼稚園：9:10～10:20 高校：9:10～10:00

※授業研究 広瀬小：9:50～11:20 幼稚園：10:40～11:40 高校：10:20～11:20

### 〈 第2日目 〉

8:00 9:00 9:30 12:00

地域 世話人会	受付	閉会行事・シンポジウム 閉会行事
〈会場〉宮城学院女子大学 ☆移動について☆ 宮城学院女子大学まで仙台駅よりバス増発		

主 催	日本生活科・総合的学習教育学会
後 援	宮城県教育委員会 仙台市教育委員会
協 力	仙台市小学校教育研究会生活科・総合的な 学習研究部会
協 賛	公益財団法人 仙台観光国際協会

問い合わせ 大会会長 吉村 敏之(宮城教育大学大学院) t-yo@staff.miyakyo-u.ac.jp  
 先:

実行委員長 戸野塚 厚子(宮城学院女子大学) atsuko@mgu.ac.jp  
 事務局長 伊藤 敏子(仙台市立鶴巻小学校) fwjc1587@mb.infoweb.ne.jp

## 会場校 1 仙台市立広瀬小学校

【公開授業】 8 : 45 ~ 9 : 30

【授業研究会】 9 : 50 ~ 11 : 20

公開授業		授業研究会			
学年・組	授業者	部会	司会	助言者	
1年	1組	A	仙台市立 八幡小学校  舘川 真子	愛知教育大学  野田 敦敬	
	2組				皆川多喜子
	3組				石垣 佐季
	4組				細川 高宏
2年	1組	B	仙台市立 幸町南小学校  下山 俊子	東北福祉大学  熊谷 和彦	
	2組				山本 順造
	3組				菊谷美奈子
3年	1組	C	仙台市立 八乙女小学校  梶原 智	上智大学  奈須 正裕	
	2組				村上 竜彦
	3組				小出由美子
4年	1組	D	仙台市立 上杉山通小学校  上原 広樹	山形大学  野口 徹	
	2組				塚本 夏海
	3組				齋藤みずき
5年	1組	E	仙台市立 広瀬小学校  中久保光志	鳴門教育大学  村川 雅弘	
	2組				本木 りゑ
	3組				嶺岸菜寸美
6年	1組	F	仙台市立 広瀬小学校  村上 聡	仙台市教育委員会  猪股 亮文	
	2組				村上 聡
	3組				高橋 郁子

## 会場校 2 認定こども園宮城学院女子大学附属幼稚園

【公開保育】 9:10~10:20

【授業研究会】 10:40~11:40

公開保育			授業研究会		
組	活動名	授業者	部会	司会	助言者
4歳児 そら組 1・2	?・!・♡ をさがそう	庄子いづみ 齋藤 彰子	G	宮城学院女子大学	白梅学園大学
5歳児 ひかり組 1・2	?・!・♡ をさがそう	佐々木 和 福田 花絵		戸野塚厚子 生野 桂子	無藤 隆

## 会場校 3 宮城学院高等学校

【公開授業】 9:10~10:00

【授業研究会】 10:20~11:20

公開授業			授業研究会		
学年・組	单元名	授業者	部会	司会	助言者
2年	梅組	グローバル	H	宮城学院高等学校 鎗田 謙一	金沢大学大学院 松田 淑子
	桜組	スタディー			
	萩組	ズ3 「世界の諸問			
	菊組	題の共有」			
		菊田 恵子			
		松本 彰子			
		牧田 創			
		五十嵐恵子			

◇ 自由研究発表プログラム (No. 1)

会場：宮城学院女子大学 (13:30~15:10)

番号	会場	発表題目	発表者	コメンテーター
1	講義館 C301	重松鷹泰の問題解決学習に関する研究	お茶の水女子大学 田村 恵美	青森県 青森市立 浦町小学校 中村 泰子
		生活科の学びを生かす理科学習に関する一考察一 第三学年の理科の実践の分析を通して一	愛知教育大学大学院 藤井 達也 愛知教育大学 野田 敦敬	
		コミュニティ・スクールにおける生活科・総合的な 学習の時間の在り方	富山県富山市立保内小学校 三原 茂 富山国際大学 水上 義行	
2	講義館 C402	総合的な学習の時間への教師の働きかけに関する 事例的研究	上越市立大和小学校 相馬 修	福岡教育大学 津川 裕
		総合的な学習の時間における「ミドル」の役割に関 する事例的研究	岩手県宮古市立千徳小学校 傳野 祥子	
		生活科デジタル教科書の調査研究一効果的な活用方法一	日本文教出版 青木 聡 愛知教育大学 真島 聖子	
3	講義館 C404	総合的な学習実践における教師の自己形成に関する 研究一カリキュラム・マネジメントの視点から捉え直す一	愛知教育大学 真島 聖子 荻野 嘉美 中村 仁志 山本 銀兵	宮城県 仙台市立 鶴谷小学校 丹野 伸裕
		ふるさと総合学習の理論と実践の探究(3)一重松 鷹泰の教育思想と愛知豊富小学校「自主学習への過程」 研究の再評価一	愛知教育大学 荻野 嘉美	
		デューイ実験学校における教師の協働的探究に関 する研究一探究的な学習を支える教師の協同への示唆一	愛知教育大学大学院 中村 仁志	
		生活科における学びの発展一気付きの観点から一	愛知教育大学大学院 山本 銀兵 愛知教育大学 加納 誠司	
4	講義館 C407	認定NPO法人アジア教育友好協会(AEFA)が提供す る生活・総合の出前授業一1年生活科「みんなのこ こにこだいさくせん」・4年総合「私たちの思い ラオスの 友達へとどけよう「とうがらし大作戦」一	認定NPO法人アジア教育友好協会 菊地 修治	岩手大学 田代 高章
		「21世紀型の資質能力」育成をめざす総合的な学 習の時間カリキュラム開発一「対馬らしさ」への協同 的な思考を深める実践一	長崎県対馬市立豊小学校 畑島 英史 長崎大学 井手 弘人	
		ホリスティック・アプローチによるESDの可能性を さぐって一1年生 生活科における「はっばのお風呂」 づくりを通して一	埼玉県所沢市立宮前小学校 木下 智実	
		第五学年「総合的な学習の時間」における郷土愛を 高める学習プロセスの在り方	大分県中津市立大幡小学校 吉田 浩	

◇ 自由研究発表プログラム (No. 2)

会場：宮城学院女子大学 (13:30~15:10)

番号	会場	発表題目	発表者	コメンテーター
5	講義館 C409	子供に自ら課題意識を持たせるための、教師の意図的な働きかけについての一考察-3学年「地域の自然と触れ合おう 七北田川」の実践から-	仙台市立北中山小学校 伊藤 浩也	青森県 青森市立 金沢小学校 千田 雅美
		「総合的学習」における自己評価能力の育成に関する研究-ループリックの共有化による相互評価と自己評価を通して-	関西福祉科学大学 香田 健治 関西学院大学 佐藤 真	
		体験活動と言語活動の往還によるプロジェクト学習で「汎用的能力」を高める学び-教師の力量形成を促す総合的な学習の時間の可能性に着目して-	福島県会津若松市立鶴城小学校 岩本 宏幸	
		探究的な学習の視点をふまえ、子どもたちとともに作る総合的な学習の時間の展開-「みんなの平野ダッシュ村〜粒の種から地球を考えよう〜」の取り組みから-	大阪教育大学附属平野小学校 四辻 伸吾	
6	講義館 C502	2ヶ年間の生活科の実践で得たもの-児童の気づきを高めるために-	山形県南陽市立梨郷小学校 漆山 恵	東京都 西東京市立 谷戸第二小学校 諸岡 浩
		自分自身について気づき、成長を実感できる子どもの育成-スタートカリキュラムを意識した栽培活動を通して-	愛知県名古屋市立西城小学校 園尾 朱里	
		地域との豊かなつながりの中で、子供たちの本気の学びを創り上げる-小学6年「ネプタ流しの今を見つめ、未来へつなぐ」の実践から-	富山県滑川市立寺家小学校 飛弾 直樹	
		生活科における能動的な学びに関する一考察	佐賀大学教育学部附属小学校 浦郷 淳 関西学院大学 佐藤 真	
7	講義館 C503	子どもと教師でつくる生活科の授業の考察-野菜の栽培単元における科学的思考を育む要素の抽出を中心に-	金城学院大学 坪井 貴子 広島大学附属三原小学校 石井 信孝	山形県 天童市立 天童南部小学校 大谷 敦司
		因果関係に着目する見方・考え方を育む授業の考察-「うごくおもちゃを作って いっしょにあそぼう」(2年)の実践を通して-	広島大学付属三原小学校 石井 信孝	
		小学校入門期における『じぶんづくり』と『なかまづくり』を求めて-第一学年 生活科 「自分であそぼう・みんなであそぼう」の実践から-	岐阜聖徳学園大学附属小学校 岩田 龍明	
		幼保小連携のあり方を探る-刈谷市リンクカリキュラムの構築を通して-	愛知教育大学 神谷 裕子	
8	講義館 C504	韓国における自由学期制	長崎大学 劉 卿美 長崎国際大学 橋本 健夫	北海道 札幌市立 栄緑小学校 三好 哲司
		短大生と附属幼稚園園児協働による野菜栽培活動の実践-I大学短期大学部保育科「生活」の授業を通して-	鶴見大学短期大学部 仙田 考	
		トレーディングカード型ツールを使った総合的な学習の実践	北海道富良野市立鳥沼小学校 小野田 太一	
		「水の旅」-見えない水の流れを捉えさせ、全体像から理解を図るための教材開発-	仙台北百合女子大学 沼澤 清一	

◇ 自由研究発表プログラム (No. 3)

会場：宮城学院女子大学 (13:30~15:10)

番号	会場	発表題目	発表者	コメンテーター
9	講義館 C602	「地域に根差した体系的な探究型環境学習プログラムの実践」	宮城県気仙沼市立面瀬小学校 阿部 正人	岩手県 岩泉町立 安家小学校 加藤 良
		国語科との合科的・関連的な指導を取り入れた生活科のおもちゃ作りにおける自己決定の変容	大分大学教育学部附属小学校 中村 健太	
		自ら学びを創造する子供の育成—子供の思いや願いを大切にしたい探究的な学習を通して—	岩手県盛岡市立杜稜小学校 金野 浩二	
		総合的な学習の時間におけるキャリア教育の工夫改善—子どもが学びを実感できる授業づくり—	埼玉県さいたま市立高砂小学校 山口 徹志	
10	講義館 C603	新教科創設期における生活科の授業づくり—生活科研究推進校の授業研究記録の検討を中心に—	愛知東邦大学 白井 克尚	立教大学文学部 前田 一男
		対象への願いや思いを高め、他者とのかかわりの中で気付きの質を高めていく生活科実践—2年「楽しいよ!ゴムゴムランド」の実践から—	新潟県十日町市立東小学校 桑原 洋文	
		学習自律 (オートノミー) の育成を視点とした学びの振り返りに関する研究—小学校における総合的な学習の実践を通じて—	帝京大学 中田 正弘	
		幼児との交流を通して、かかわる楽しさを味わい、すすんで交流活動ができるようになる研究—伝えあいを大切に、小学校、幼稚園双方が実りのある交流活動を目指して—	高知県いの町立伊野小学校 中屋江利子	
11	講義館 C604	ルーブリックを基に個を見取り、評価し、支援を講じる—第25回北海道生活科・総合的な学習教育研究大会の実践を通して—	北海道教育大学附属釧路小学校 佐々木慶典	秋田県 総合教育センター 宮野真知子
		学びの芽生えを培う保育実践についての考察—5歳児の実践事例を通して—	宮城学院女子大学附属幼稚園 齋藤 彰子	
		対象へかかわり続け、気付きの質を高める生活科学習誘導	福岡教育大学附属小倉小学校 中原 孝行	
12	講義館 C605	児童前期における生活科から総合的な学習への接続・発展を図る研究—2年生・3年生の実践分析からのアプローチ—	愛知教育大学 加納 誠司	山形大学 坂本 明美
		幼児期からの学びを生かした生活科における学習意欲の研究	愛知教育大学大学院 五十嵐大樹	
		子どもの育ちと学びをつなぐ幼少接続カリキュラムの開発 (V) —「とまどいマトリクス」を活用した「1日体験入学」の改善—	愛知教育大学 加納 誠司 奈良学園大学 善野八千子	
		生活科のこれからを見据えた研究構想と指導の実践—「生き方」からの学習内容の再構成を通して—	岐阜県山県市立伊自良南小学校 大山 夏生 福岡教育大学附属福岡小学校 齋藤 淳	

◇ 自由研究発表プログラム (No. 4)

会場：宮城学院女子大学 (13:30～15:10)

番号	会場	発表題目	発表者	コメンテーター
13	講義館 C606	子供とつくる総合的な学習の時間－第5学年総合「かなえよう!ぼく・わたしの夢 竹鼻用水・水公園」の実践から－	富山県舟橋村立船橋小学校 尾島 良幸 金沢大学 松本 謙一	宮城県 仙台市立加茂小学校 近澤 裕子  宮城県 仙台市教育センター 堤 祐子
		小学校英語との関連を目指したこれからの総合的学習の可能性	愛知教育大学大学院 鋤柄 圭祐 愛知教育大学 加納 誠司	
		「総合的な学習」を指導するための資質・能力を養成する授業のあり方－教員養成の基礎科目授業における学生の探究的な学びに注目して－	山形大学 野口 徹	
		「自ら感じ、考え、動き、思いを深めていく生活科学習」－小学校1年「わたしの おいも」を通して－	長野県岡谷市立神明小学校 大熊 望 長野県長野市立緑ヶ丘小学校 塩原 孝茂	
14	講義館 C607	奈良女子大学附属小学校の学習法に関する事例研究－相互学習を中心とした地方での展開と普及－	愛知教育大学大学院 金津 琢哉	名古屋市立大学 大学院 原田 信之
		生活科・総合的な学習での動物飼育における「学び」を問う－信州大学教育学部附属長野小学校の実践を手がかりに－	信州大学教育学部附属長野小学校 宮島 新 信州大学 畔上 一康 伏木 久始	
		幼児から児童への発達段階における「遊び」を核とした学びの研究－健康からのつながりを目指した生活科・総合的学習の創造－	愛知教育大学大学院 羽實 昂也	
15	講義館 C608	海外に住む日本人から学ぶ(日本人学校 中学部 総合的な学習の時間の実践)	東京都港区立芝浦小学校 八木 美香	山形県 山形市立第三小学校 高野 浩男
		生活科の学習指導案における評価チェック法の提案	宮崎大学 湯地敏史 藤元嘉安 岡村好美 豊国学園高校 玉井 恭平 滋賀大学 岳野 公人	
		防災・減災教育における学社・学外連携－生活科・総合的な学習の時間を核として－	愛知教育大学大学院 市川 真基	
16	講義館 C611	総合的な学習の時間における小中連携・接続の実態と今後の課題	愛知淑徳大学 加藤 智	山形大学 江間 史明
		栽培单元における物語的文脈の意味	東京学芸大学附属小金井小学校 齊藤 和貴	
		総合的学習の指導にあたる教師の意識についての考察－小学校教師を対象にした聞き取り調査結果から－	金沢星稜大学 村井万寿夫	



◇ 自由研究発表プログラム (No. 5)

会場：宮城学院女子大学 (13:30~15:10)

番号	会場	発表題目	発表者	コメンテーター
17	講義館 C612	ICTを用いた生活科の学びに関する一考察	千葉大学 鈴木 隆司	栃木県 茂木町立 逆川小学校 町井 富子
		理論と実践をつなぐ教科教育法生活の在り方-生活科の思い出ランキングから読み解く、生活科の授業づくりのポイント-	山口大学 藤上 真弓	
		効果的な「総合的な学習の時間」の実施-自治体と連携した事例を通して-	仙台市役所 林 慎吾 宮城県尚綱学院高等学校 白津祈恵子	
18	第二講義館 K105	生活科教育法における模擬授業の実践	神戸女子大学 金岩 俊明	山形県 山形市立第四小学校 佐藤 卓生
		サクサクできるパズル型スタートカリキュラム作成支援ツール「サクスタ」の開発と運用	愛知県知多市立旭北小学校 八剣 明美 鳴門教育大学 村川 雅弘 東京成徳大学 和田 信行	
		「生活科指導法」におけるアクティブ・ラーニング「体験」と「表現」の往還を意識した単元づくりワークショップ-	鳴門教育大学 村川 雅弘 愛知県知多市立旭北小学校 八剣 明美	
19	第二講義館 K201	教育学部生の生活科における活動経験と身に付けた力の一考察-生活科開始10年における生活科授業の実態把握をもとに-	岐阜聖徳学園大学 柘植 良雄	東京都 世田谷区教育委員会 齋藤 等
		安心感を育むためのスタートカリキュラムの開発-生活科を核にした「仲間づくり」活動を基盤として-	仙台市立柳生小学校 片平みちる	
		子どもの探究意欲を地域創生につなげる総合的な学習の時間2-探究の過程で生じた壁を思考ツールで乗り越え、子どもの本気を地域に伝える-	大分大学教育学部附属小学校 久保 祐貴	
20	第二講義館 K202	生活科の学びと力量形成のあり方-授業改善シートを活用して-	神戸親和女子大学 藤池 安代	東京都 東京学芸大学 平野 朝久
		共に創る授業の創造区学びをつなげる子ども-忍者修行ごっここのSくんの遊びの姿を通して-	長野県長野市立南部小学校 上原 博光	
		共に創る授業の創造区-第1・2学年 生活科「ヤッホー!くわのみみつきち」の実践より-	富山県南砺市立利賀小学校 松井 昌美	
21	第二講義館 K203	地域資源の再発見と観光への関心を育てる総合+社会科授業-出前授業を通じた観光教育提案-	玉川大学 寺本 潔	茨城県 大洗町立南中学校 加茂川くるみ
		児童の主体性・創造性と教師の授業力向上を育む単元コーディネーターとしての役割-第3学年「夢のやきもちを創ろう」の学習展開を通して-	徳島県小松島市立北小松島小学校 村井 徹志	
		科学的な見方・考え方を育てる生活科モデル授業「衝突のかがく」における小学2年生の「気づき」の特性	大阪大谷大学 小谷 卓也	

◇ 自由研究発表プログラム (No. 6)

会場：宮城学院女子大学 (13:30~15:10)

番号	会場	発表演目	発表者	コメンテーター
22	第二講義館 K204	生活科における気付きに関する評価の研究-若手 教員によるグループ・モデレーションを通して-	東京成徳大学 刀川 啓一 宇都宮大学 人見 久城	青森県 つがる市立 稲垣小学校 佐々木 真
		生活科・総合的な学習の時間を中軸とした、探究 的な学習を促す思考スキル、ツールを活かした小 豆板カリキュラムデザインの構築	愛知県岡崎市立小豆坂小学校 金指由香里 中根 精司	
		総合で身に付けた思考スキルを教科等で活用し 相互につなげる取組み	大分県佐伯市立直川小学校 横井 信行	
23	第二講義館 K205	そこにあるふるさとに学ぶ子-『ふるさと写真展』 の取組を通して-	愛知県豊川市立一宮南部小学校 原田 三朗	岩手県 盛岡市立 緑が丘小学校 君塚 裕子
		気付きを自覚し、気付きの質を高める生活科の授 業-2年 生活科「ひらおっこ たんけんたい ~ひら おのすてきをみつけよう~」の実践を通して-	愛知県豊川市立平尾小学校 宮林 史依 愛知県豊川市立一宮南部小学校 原田 三朗	
		自他の命の大切さと向き合い、自ら行動できる児 童・生徒育成をめざして	大分県教育委員会 米持 武彦 大分県佐伯市立東雲中学校 染谷 浅夫 広瀬 義人	
24	第二講義館 K209	地域と子どもと学校を繋ぐための教師の手立て -6年生総合「深めよう きずなのあしあと」を事例に-	神奈川県川崎市立大島小学校 赤松 理 佐藤貴博 原田 賢 仙台市白百合女子大学 中村 俊哉	仙台白百合 女子大学 中村 俊哉
		動的学びを支援する活動可視化型学習指導案「ラ ーニングスケッチ」の進化	兵庫教育大学 溝邊 和成	
		子どもと教師が主体的に気付きにせまる授業の 工夫-「ラーニングスケッチ」の活用-	加西市立加西特別支援学校 森川 茂樹 兵庫教育大学 溝邊 和成 兵庫教育大学附属小学校 田中 吾子	
25	第二家政館 L201	国際的視野で地域と関わり、学ぶ意欲と思考力を 育てる新教科「地球未来科」-「安心院七不思議探 検隊」の実践を通して-	大分県宇佐市立安心院小学校 佐藤亜由美	秋田大学 外池 智
		お花畑の伝説-アナザーゴールを活用した意欲の向上-	東京学芸大学附属世田谷小学校 沼田 晶弘	
		学びの基礎へとつながる遊びの充実に必要な環 境・援助とは-幼少の円滑な接続を視野に入れた幼稚 園年長児の実践-	広島大学附属三原幼稚園 広兼 睦	
26	第二家政館 L202	アクションリサーチを通じた教師の力量形成の 事例的研究-生活科の動物飼育の実践から-	上越教育大学大学院 田中 文健 松井千鶴子	白百合女子大学 神永 典郎
		生活科における教師のかかわりに関する研究-第 2学年おもちゃづくり活動を通して-	東京都府中市立府中第一小学校 高橋美早樹	
		地域の特性を生かし児童の資質・能力を高める自 校カリキュラム・デザインへの提案-生活科・総合的 な学習の時間を中心に学校カリキュラムの全体構成を考える-	長崎県佐世保市立柚木小学校 溝上 敦子	

◇ 課題別研究発表プログラム

会場：宮城学院女子大学（15：20～17：00）

番号	テーマ	教室名	コーディネーター (五十音順)	発表者 (五十音順)
1	提言!小・中学校の総合的な学習の時間の改善点—学習指導要領実施状況調査結果から—	講義館 C308	関西大学大学院 黒上 晴夫	福岡県久留米市立山川小学校 四ヶ所清隆 岐阜県郡上市立八幡小学校 三島 晃陽 東京都新宿区立大久保小学校 三田 大樹
2	提言!生活科の改善点—学習指導要領実施状況調査結果から—	講義館 C304	共栄大学 若手三喜雄	熊本市立長嶺小学校 伊津野留美 香川県教育委員会 久利 知光 山梨県教育庁 嶋崎 修 京都市立御所南小学校 平田 あや
3	求められる資質・能力を見据えた幼少接続のあり方—これからの時代に求められる「スタートカリキュラム」—	講義館 C302	横浜市こども青少年局 寶來生志子 神奈川県横須賀市立永井小学校 渡辺 文	ゆうゆうのもり幼保園 渡辺 英則 高知市教育委員会 今西 和子
4	求められる資質・能力を見据えた生活科のあり方—授業におけるリフレクションとインタラクション—	第二講義館 K302	上越教育大学 木村 吉彦 大分県教育庁 米持 武彦	大分県佐伯市立鶴岡小学校 武田 文子 新潟県上越市立大手町小学校 甫仮 直樹
5	求められる資質・能力を見据えた総合的な学習の時間のあり方—改めて「探究のプロセス」を検証する—	第二講義館 K301	関西学院大学 佐藤 真 早稲田大学 藤井 千春	兵庫県たつの市立新宮小学校 石堂 裕 山形大学附属小学校 江波 大
6	求められる資質・能力を見据えた、高等学校におけるアクティブ・ラーニングの展望	第二講義館 K306	広島大学 永田 忠道 兵庫教育大学 溝邊 和成	山梨県総合教育センター 廣瀬 志保 広島県立府中高等学校 豊田 昇
7	求められる資質・能力を見据えた、特別な支援を要する児童生徒の生活単元学習、生活科・総合的な学習の時間のあり方	講義館 C202	秋田大学 濱田 純 白百合女子大学 古川 鉄治	富山県富山市立堀川小学校 城石 祥子
8	これからの時代に求められる、アクティブ・ラーニングを支えるカリキュラム・マネジメント—生活科・総合的な学習の時間を基軸にして—	講義館 C203	埼玉県行田市立南河原小学校 小川 聖子 名古屋大学 久野 弘幸	静岡県教育委員会 眺野 大輔 埼玉県越谷市立大袋東小学校 新原 秀典 愛知県岡崎市立矢作中学校 高沢 秀昭
9	【開催地枠】 子どもと社会をつなぐ豊かな学びを創出する生活科・総合的な学習の時間—広瀬小学校における生活科・総合的な学習コーディネーターの取組を中心に—	講義館 C201	愛知教育大学 中野 真志	愛知淑徳大学 加藤 智 仙台市立広瀬小学校 鈴木美佐緒

## 記念講演・シンポジウム

開会行事・・・ 9:30～ 9:45

前日の各課題研究の概要報告

9:45～10:00

記念講演・・・ 10:00～10:30

シンポジウム・・・ 10:35～11:45

閉会行事・・・ 11:50～12:00

### ■ 記念講演

「東北発！これからの時代に求められる資質・能力を培う生活科・総合的な学習のあり方について」 講師 文部科学省視学官 田村 学 氏

### ■ シンポジウム

※記念講演を受けて同演題にてシンポジウムを行います。

シンポジスト	寺尾 慎一 氏 (福岡教育大学)
	田村 学 氏 (文部科学省視学官)
	無藤 隆 氏 (白梅学園大学)
	鈴木 美佐緒 氏 (仙台市立広瀬小学校)
コーディネーター	吉村 敏之氏 (宮城大会会長)

#### 趣旨説明

新しい時代に必要な資質・能力を育成する指針として、東日本大震災の困難と向き合う教育が注目されています。「未曾有の大災害となった東日本大震災における困難を克服する中で、様々な現実的課題と関わりながら、被災地の復興と安全で安心な地域づくりを図るとともに、日本の未来を考えていこうとする新しい教育の取組も芽生えています。」(平成26年11月20日「初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について」の諮問理由)復興途上にある宮城の地で、間近に迫る学習指導要領の改訂にむけて、子どもたちの未来を拓く教育のあり方を考えます。

課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習(アクティブ・ラーニング)の推進役となり、子どもに社会と関わる力を培うための教育内容の組織(カリキュラム・マネジメント)の核となる、生活科・総合的な学習の原理と方法をさぐります。教育行政、発達・学習研究、学校での実践をふまえて、本学会がこれからの日本の教育を先導すべく進む道を求めます。

今回の記念講演・シンポジウムは、前日の課題研究との関連を図り、大会の二日間で探究が深まることを期待しています。本大会のテーマ「震災体験を乗り越え、次代を切り拓く子ども」「地域の一員として主体的にかかわり共に生きる力を育む生活科・総合的な学習の創造」についてのイメージを豊かにできればと願っています。震災のみならず産業の衰退や人口減少などの課題にも直面する東北から、地域とつながり地域を支える力となる学習のあり方を示します。

# 日本生活科・総合的学習教育学会 第25回全国大会

## 参加登録・懇親会・昼食・宿泊プランのご案内

### 1. お申込み手続きについて

①申込方法について（各参加者 ⇒ JTB 東北）

別紙『参加申込書』に必要事項をご記入の上、5月7日（土）までにJTB東北ECデスク宛にメール(tohoku-ec@jbn.jtb.jp)またはFAX(0120-937-224)にてお申込み下さい。

②大会参加券等の送付・参加費/ご旅行代金等の振込みについて

大会参加券・予約確認書・請求書類は5月中旬頃から随時、各申込代表者宛にお送り致します。内容を確認の上、請求書に記載の期日までに弊社指定口座へお振込み下さい。

※振込みの際の振込み手数料は、お客様負担にてお願いいたします。

### 2. 事前参加登録について（募集型企画旅行契約には該当しません）

#### 〈大会参加費〉

	事前参加登録費	参加登録業務代行費
一般	おひとり様 3,500円	おひとり様 540円
学生	おひとり様 2,500円	

※上記大会参加費は、5月31日（火）以降に取消の場合は返金致しかねます。資料の送付をもってこれに代えさせていただきます。

※お申込みお一人様につき、参加登録業務代行費として別途540円を申し受けます。期日にかかわらず、入金後の返金には応じられませんので予め御了承下さい。

### 3. 送迎バスプランのご案内（募集型企画旅行契約）

JTB東北がご案内いたします。旅行条件書(要約)をご確認の上、お申し込ください。

ご利用ご希望の方は、申込書の送迎バスプランの欄に○印をご記入下さい。

設定日：2016年6月11日（土）

条件：サービス料・税金込、食事なし、お一人様あたりの金額です。

最少催行人員：40名 添乗員：同行いたしません。

※完全予約制となっております。当日の追加申込はできません。

※当日は、後日お送りするバス乗車券を必ずお持ちください。

月日	行程	旅行代金
6月11日 (土)	広瀬小学校(11:30)発→宮城学院女子大学(12:00)着 ※授業研究会終了後、順次出発致します。	700円

### 4. 昼食弁当のご案内（募集型企画旅行契約には該当しません。事務局様からの当社代行受付・集金となります）

期日：6月11日（土）

代金：1,000円（お茶付）

引換：会場内 JTB デスク 11時～13時

ご希望の方は、申込書の各欄に○印をご記入ください。

**5. 懇親会について**（募集型企画旅行契約には該当しません。事務局様からの当社代行受付・集金となります）

期 日：平成 28 年 6 月 11 日（土）

場 所：仙台国際ホテル 2F「平成」 19:00～21:00（予定）

参加費：おひとり様 8,000 円

参加ご希望の方は、申込書の各欄に○印をご記入ください。

事前参加登録期間：4 月 15 日（金）～5 月 7 日（土）

※5 月 7 日（土）以降のお申込みは承りかねます。

※上記懇親会参加費は、5 月 31 日（火）以降の参加取消の場合返金できません。

**6. 宿泊プランのご案内**（募集型企画旅行契約）

本大会ご参加者用に下記ホテルの宿泊プランを御用意しております。

旅行条件書（要約）をご確認の上、ぜひお申し込みください。

ご宿泊プラン設定日：6 月 10 日（金）11 日（土）※2 泊分

旅行代金：1 泊朝食付・税金・サービス料込 おひとり様あたりの金額 \*単位：円

最少催行人員：1 名様

ホテル名	記号	客室タイプ	ご旅行代金（お一人様）	仙台駅から
ホテル メトロポリタン仙台	①	シングル禁煙	16,800 円	J R 仙台駅西口 徒歩約 1 分
	②	シングル喫煙	16,800 円	
ホテルモントレ仙台	③	シングル禁煙	11,900 円 (6/10) 14,600 円 (6/11)	J R 仙台駅西口 徒歩約 3 分
	④	シングル喫煙	11,900 円 (6/10) 14,600 円 (6/11)	
仙台国際ホテル	⑤	シングル禁煙	10,000 円	J R 仙台駅西口 徒歩約 5 分
	⑥	シングル喫煙	10,000 円	
仙台ワシントンホテル	⑦	シングル禁煙	12,500 円	J R 仙台駅西口 徒歩約 3 分
	⑧	シングル喫煙	12,500 円	
アバヴィラホテル <仙台駅五橋>	⑨	シングル禁煙	8,000 円	J R 仙台駅西口 徒歩約 8 分
	⑩	シングル喫煙	8,000 円	
ホテル JAL シティ仙台	⑪	シングル禁煙	10,500 円 (6/10) 14,500 円 (6/11)	J R 仙台駅西口 徒歩約 5 分
	⑫	シングル喫煙	10,500 円 (6/10) 14,500 円 (6/11)	
ホテル モンテエルマーナ仙台	⑬	シングル禁煙	8,600 円 (6/10) 10,600 円 (6/11)	J R 仙台駅西口 徒歩約 4 分
	⑭	シングル喫煙	8,600 円 (6/10) 10,600 円 (6/11)	
江陽グランドホテル	⑮	シングル禁煙	10,000 円	J R 仙台駅西口 徒歩約 10 分
	⑯	シングル喫煙	10,000 円	

ホテル名	記号	客室タイプ	ご旅行代金 (お一人様)	仙台駅から
三井ガーデンホテル	⑰	シングル禁煙	10,760円(6/10) 11,840円(6/11)	JR仙台駅西口 徒歩約10分
	⑱	シングル喫煙	10,760円(6/10) 11,840円(6/11)	
ホテルユニサイト仙台	⑲	シングル禁煙	8,400円(6/10) 9,000円(6/11)	JR仙台駅西口 徒歩約3分
	⑳	シングル喫煙	8,400円(6/10) 9,000円(6/11)	
ホテルユニゾイン仙台	㉑	シングル禁煙	7,000円	JR仙台駅西口 徒歩約6分
	㉒	シングル喫煙	7,000円	
ホテル グリーンマーク仙台	㉓	シングル禁煙	8,600円(6/10) 9,700円(6/11)	JR仙台駅西口 徒歩約6分
	㉔	シングル喫煙	8,600円(6/10) 9,700円(6/11)	

※ツインのご旅行代金は、ツインルームを2名様でご利用の場合、お一人様あたりの金額です。

※添乗員は同行いたしません。お申込後にお送りする宿泊確認書を宿泊施設フロントにてお渡してください。

※朝食が不要の場合でも特別設定代金のため、ご返金はできません。個人勘定及びこれに伴うサービス料と諸税は各自ご清算願います。

※禁煙部屋が満室の場合は、喫煙部屋の消臭対応をご案内する場合がございます。その場合はあらかじめ連絡いたします。

#### <日程表>

日次	行程	食事
1	ご自宅または前泊地、または各地→(各自移動、お客様負担)→各宿泊施設	朝：× 昼：× 夕：×
2	各宿泊施設→(各自移動、お客様負担)→ご自宅または次泊地、または各地	朝：○ 昼：× 夕：×

## 6. 変更・取消について

変更・取消の場合はお早めに郵送、FAX、メールにてご連絡下さい(電話ではお受け致しかねます)。

お申込み後の取消(契約解除)は、下記の取消料を申し受けます。下記取消料を差し引いた残金を後日ご返金致します。

(取消日=宿泊開始日の前日から起算してさかのぼって)

8日前まで	7日~2日前の解除	前日の解除	当日の解除*右記除く	旅行開始後、 無連絡(不泊)
無料	旅行代金の20%	旅行代金の40%	旅行代金の50%	旅行代金の100%

・弁当(募集型企画旅行契約には該当しません)

3日前まで	2日前の解除
無料	弁当代金の100%

## 7. 個人情報の取扱について

当社は今回の大会お申込みの際に提出された申込書に記載された個人情報について、お客様との連絡に利用させていただくほか、お申込まいただいた宿泊機関等の提供するサービス受領のための手続きに必要な範囲内でのみ利用させていただきます。あわせて、情報共有の為に事務局に提出させていただきます。それ以外の目的で利用することはありません。

## 8. お申し込み・お問合せ先

観光庁長官登録旅行業第64号 (株)ジェイ・ビー・エー代理業/東京都知事登録旅行業者代理業第10718号

(株)JTBビジネスネットワーク JTB東北ECデスク

「日本生活科・総合的学習教育学会 第25回全国大会」係

〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-23-14 ダイハツ・ニッセイ池袋ビル7階

TEL: 0120-989-960 (フリーダイヤル) FAX 0120-937-224 (フリーダイヤル)

E-mail: tohoku-ec@jbn.jtb.jp

[営業時間] 午前9時30分～午後5時30分(土・日・祝日休業) 総合旅行業務取扱管理者: 中根 三郎郎

総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取扱う営業所での取引責任者です。ご契約に関し担当者からのご説明に不明の点がありましたら、ご遠慮なく上記旅行業務取扱管理者にご質問ください。

旅行企画・実施: 株式会社JTB東北 地域交流・MICE事業部

観光庁長官登録旅行業第1573号 仙台市青葉区大町一丁目4-1

一般社団法人日本旅行業協会正会員、旅行業公正取引協議会会員

### ■ご旅行条件書 要約(募集型企画旅行契約)・・・送迎バスプラン・宿泊プランに対応します。

お申し込みの際には、必ず旅行条件書(全文)をご確認いただき、事前に内容をご確認の上お申し込みください。

旅行条件書(全文)はこちらよりご確認ください。[<http://www.jtb.co.jp/operate/iyoken/acedom.asp>]

●募集型企画旅行契約 / この旅行は(株)JTB東北 地域交流・MICE事業部(仙台市青葉区大町1-4-1 明治安田生命仙台ビル4階 以下「当社」という)が企画・実施する旅行であり、この旅行に参加されるお客様は当社と募集型企画旅行契約(以下「旅行契約」という)を締結することになります。また、旅行条件は、下記によるほか、別途ご確認ください旅行条件書(全文)、出発前にお渡しする宿泊確認書と称する確定書面及び当社旅行業約款募集型企画旅行契約の部によります。

●旅行のお申し込み及び契約成立時期 / (1)所定の申込書に所定の事項を記入し、お申し込みください。(2)旅行契約は、当社が契約の締結を承諾し、申込金を受領したときに成立するものとします。但し、本契約に関しましては、後日送付する請求書に基づく旅行代金のお振込が完了した時点で、旅行契約が成立したものとします。

●旅行代金のお支払い / 旅行代金は旅行出発日の前日からさかのぼって13日目にあたる日より前(もしくは当社が指定する期日までに)にお支払ください。また、お客様が当社提携カード会社のカード会員である場合、お客様の署名なくして旅行代金、取消料、追加諸費用などをお支払いいただくことがあります。この場合のカード利用日は、お客様からお申し出がない限り、お客様の承諾日といたします。

●取消料 / 旅行契約成立後、お客様の都合で契約を解除されるときは、下記に記載の金額を取消料として申し受けます。

	契約解除の日	取消料(お1人様)
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって	1. 8日目にあたる日以前の解除	無料
	2. 7日目にあたる日以降の解除(3~5を除く)	旅行代金の20%
	3. 旅行開始日の前日の解除	旅行代金の40%
	4. 当日の解除(5を除く)	旅行代金の50%
	5. 旅行開始後の解除又は無連絡不参加	旅行代金の100%

●旅行代金に含まれるもの / 日程表に明示した、宿泊代、朝食代、サービス料及び消費税等諸税。これらの費用は、お客様の都合により一部利用されなくても原則として払い戻しいたしません。(ご案内に含まれない交通費等の諸費用及び個人的費用は含みません。)

●特別補償 / 当社は、当社又は当社が手配を代行させた者の故意又は過失の有無にかかわらず、募集型企画旅行約款別紙特別補償規程に基づき、お客様が募集型企画旅行参加中に急激かつ偶然な外来の事故により、その身体、生命又は手荷物上に被った一定の損害について、以下の金額の範囲において、補償金又は見舞金を支払います。・死亡補償金: 1500万円・入院見舞金: 2~20万円・通院見舞金: 1~5万円・携行品損害補償金: お客様1名につき~15万円(但し、補償対象品1個あたり10万円を限度とします。)身体外部から有毒ガス又は有毒物質を偶然かつ一時に吸入、吸収又は摂取したときに急激に生ずる中毒症状(継続的に吸入、吸収又は摂取した結果生ずる中毒症状を除きます。)を含みます。ただし、細菌性食物中毒は含みません。<免責事項>

●国内旅行保険への加入について / 旅行先において、けがをした場合、多額の治療費、移送費等がかかることがあります。また、事故の場合、加害者への損害賠償請求や賠償金の回収が大変困難であるのが実情です。これらの治療費、移送費、また、死亡・後遺障害等を担保するため、お客様自身で充分な額の国内旅行保険に加入することをお勧めします。詳細については、お問合せください。

●事故等のお申し出について / 旅行中に、事故などが生じた場合は、直ちに現地係員・運送・宿泊機関等旅行サービス提供機関、又は、お申込個所にご通知ください。(もし、通知できない事情がある場合は、その事情がなくなり次第ご通知ください。)

●個人情報の取扱について / 当社及び販売店は、旅行申込の際に提出された申込書等に記載された個人情報について、お客様との間の連絡のために利用させていただくほか、お客様がお申し込みいただいた旅行において運送・宿泊機関等の提供するサービスの手配及びそれらのサービスの受領のための手続に必要な範囲内で利用させていただきます。また、大会運営に伴い大会主催事務局へ情報を提出し、利用させていただきます。

●旅行条件・旅行代金の基準 / この旅行条件は2016年3月1日現在を基準としています。又、旅行代金は2016年3月1日現在の有効な運賃・規則を基準として算出しています。

旅行企画・実施 観光庁長官登録旅行業第1573号  
株式会社JTB東北 地域交流・MICE事業部  
日本旅行業協会正会員  
〒980-0804 仙台市青葉区大町1-4-1 明治安田生命仙台ビル4階



【申込先】 FAX : 0120-937-224 \* E-mail : tohoku-ec@jbn.jtb.jp

『個人情報保護の観点から、申込書をFAXする際は番号の押し間違いにご注意頂き、送信後はお手数ですが着信のご確認をお願い致します。』

日本生活科・総合的学習教育学会 第25回全国大会 申込書

フリガナ	
申込者名	
ご所属名	
書類送付先住所	〒
E-mail	
電話番号/FAX	電話 : _____ FAX : _____

※ご希望にチェック☑、もしくは必要事項の記載をお願いします。(記入例)

参加者	氏名 : 仙台 太郎 (フリガナ : センダイ タロウ )	性別	<input checked="" type="radio"/> 男 / 女
参加費	<input checked="" type="checkbox"/> 一般 3,500円 / <input type="checkbox"/> 学生 2,500円	シャトルバス プラン 700円	<input checked="" type="checkbox"/> 要 / <input type="checkbox"/> 不要
弁当 (お茶付) 1,000円	<input checked="" type="checkbox"/> 要 / <input type="checkbox"/> 不要	懇親会 8,000円	<input checked="" type="checkbox"/> 参加 / <input type="checkbox"/> 不参加
宿泊プラン	6月10日(金) : 第1希望 ⑤	宿泊プラン	6月11日(土) : 第1希望 ①
	6月10日(金) : 第2希望 ⑰		6月11日(土) : 第2希望 ⑮
公開授業/ 公開保育/ 授業研究会 (A~H)	第1希望 : B	自由研究発表 (1~26)	第1希望 : 5
	第2希望 : G		第2希望 : 18
課題別 研究発表 (1~9)	第1希望 : 4	シンポジウム	<input checked="" type="checkbox"/> 参加 / <input type="checkbox"/> 不参加
	第2希望 : 6		

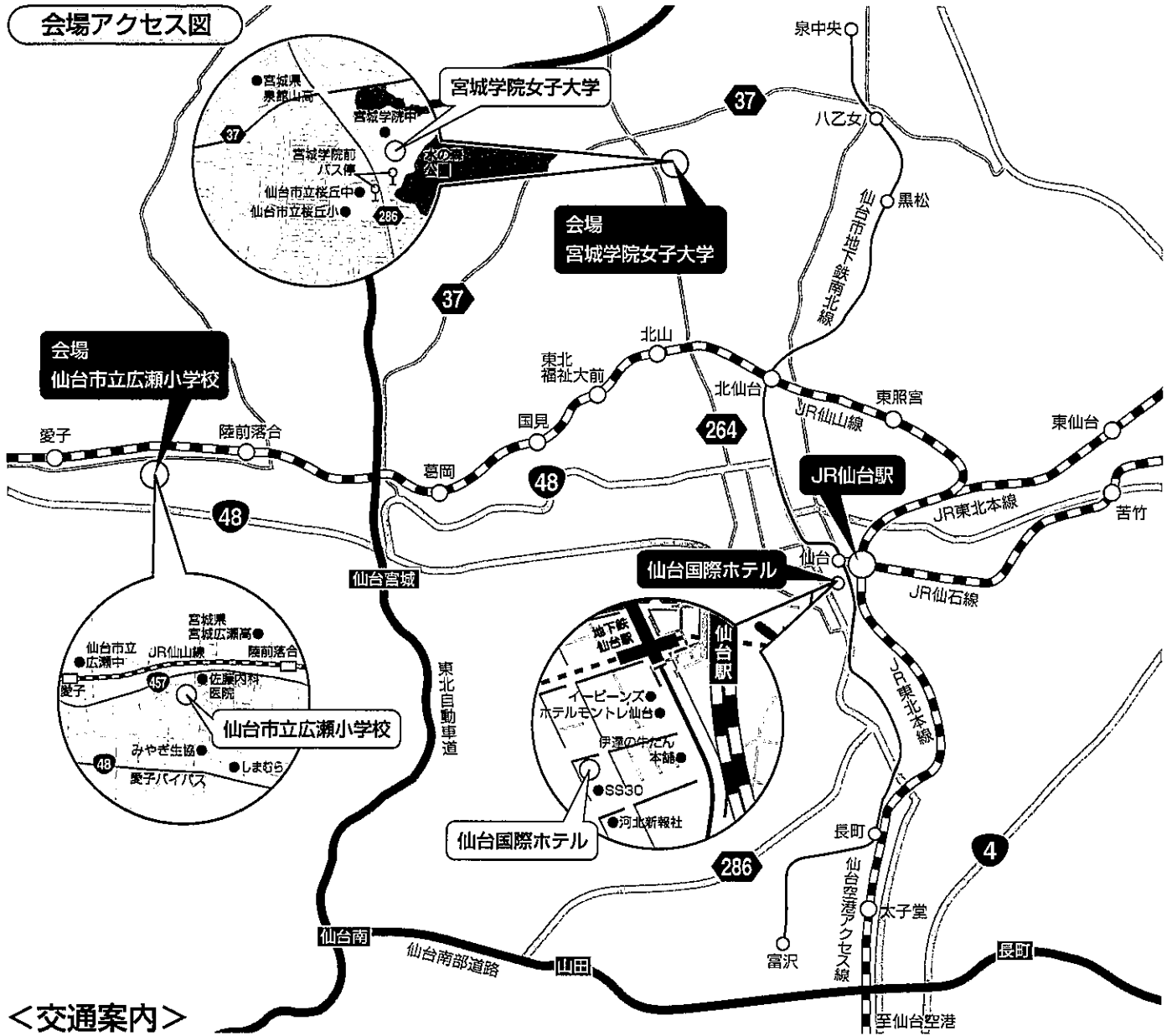
※ご希望にチェック☑、もしくは必要事項の記載をお願いします。

参加者	氏名 : _____ (フリガナ : _____ )	性別	男 / 女
参加費	<input type="checkbox"/> 一般 3,500円 / <input type="checkbox"/> 学生 2,500円	シャトルバス プラン 700円	<input type="checkbox"/> 要 / <input type="checkbox"/> 不要
弁当 (お茶付) 1,000円	<input type="checkbox"/> 要 / <input type="checkbox"/> 不要	懇親会 8,000円	<input type="checkbox"/> 参加 / <input type="checkbox"/> 不参加
宿泊プラン	6月10日(金) : 第1希望	宿泊プラン	6月11日(土) : 第1希望
	6月10日(金) : 第2希望		6月11日(土) : 第2希望
公開授業/ 公開保育/ 授業研究会 (A~H)	第1希望 :	自由研究発表 (1~26)	第1希望 :
	第2希望 :		第2希望 :
課題別 研究発表 (1~9)	第1希望 :	シンポジウム	<input type="checkbox"/> 参加 / <input type="checkbox"/> 不参加
	第2希望 :		

※2名をこえる場合は、この用紙をコピーしてお使いください。

JTB欄	
------	--

【お問合せ】 JTB東北ECデスク  
〒170-0013東京都豊島区東池袋3-23-14 ダイハツ・ニッセイ池袋ビル7階  
TEL : 0120-989-960 FAX 0120-937-224 E-mail : tohoku-ec@jbn.jtb.jp  
【営業時間】 午前9時30分~午後5時30分(土・日・祝日休業)



## <交通案内>

- ① 仙台空港 ↔ JR仙台駅
  - ・仙台空港アクセス線「仙台空港駅」[JR仙台駅]間 約17~25分
- ② 宮城学院女子大学 ↔ JR仙台駅
  - ・仙台駅西口バスプール3番「宮城学院前」行乗車→「宮城学院前」下車。
  - ・仙台駅西口バスプール2番「宮城大学・仙台保健福祉専門学校前」行乗車→「宮城学院前」下車。(約30分・料金350円)
  - ・仙台駅から車で移動の場合(タクシー等) 約25分
  - ・地下鉄利用の場合 仙台駅-旭ヶ丘駅で下車 タクシーまたはバス  
仙台駅-八乙女駅で下車 タクシーまたはバス
- ③ 仙台市立広瀬小学校 ↔ JR仙台駅
  - ・JR仙山線 「愛子駅」下車 徒歩10分~15分  
「陸前落合駅」下車 徒歩10分~15分
  - ・仙台駅前から車で移動の場合(タクシー等) 仙台駅-広瀬小学校 約25分
  - ・仙台駅西口バスプール10番 「作並温泉」行乗車→「広瀬小学校前」下車  
「白沢車庫」行乗車→「広瀬小学校前」下車  
「定義」行乗車→「広瀬小学校前」下車。(約35分・料金480円)
- ④ 宮城学院女子大学 ↔ 仙台市立広瀬小学校
  - ・県道37号線経由 車(タクシー等)で約30分
- ⑤ 仙台国際ホテル
  - ・仙台駅から徒歩10分
  - ・宮城学院女子大学から タクシー等車で20分  
バス 宮城学院女子大学-仙台駅前で下車 徒歩10分~15分
  - ・地下鉄利用の場合  
タクシーまたはバス 旭ヶ丘駅-仙台駅で下車 徒歩10分~15分  
タクシーまたはバス 八乙女駅-仙台駅で下車 徒歩10分~15分

※会場間を運行するシャトルバスをご用意しておりますのでご利用ください。(シャトルバスは有料です。ご利用には事前の申し込みが必要です)